

基本事業名	危機管理体制の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員等				
基本事業コード	211-01-02			目的	災害時に市民の生命・身体・財産等を守るようにする。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	1	危機管理		危機管理対策に満足している市民の割合		%	7	未集計	10
施策の方向	1	危機管理体制の充実							
まちづくりの 戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	13 気候変動				17 実施手段		-

事務事業名		業務継続計画進行管理事務事業				事務事業コード		211-01-02				
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当 R5	危機管理課	R6	危機管理課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	職員									特記事項	
	目的(どうしたいのか)	大規模災害など市民生活に甚大な被害をもたらす深刻な影響を与える危機的状況下であっても、優先すべき業務の継続と早期復旧を実現し、市民の生命・財産を守り、行政サービスの提供機能、都市機能や社会経済活動を維持・復旧する。										
	手段(事業内容)	現行の計画の進捗状況及び実施体制の把握、必要な計画の見直し。										
総計に基づく 事業の進捗状況	(R5年度)	A	順調である	R6年度	実施の方向性	実施						

基本事業名	危機管理体制の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員等				
基本事業コード	211-01-03			目的	災害時に市民の生命・身体・財産等を守るようにする。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	1	危機管理		危機管理対策に満足している市民の割合		%	7	未集計	10
施策の方向	1	危機管理体制の充実							
まちづくりの 戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	13 気候変動				17 実施手段		-

事務事業名		国民保護計画進行管理事務事業					事務事業コード		211-01-03	
継続・新規	継続	法定・自治	法定受託事務	予算科目	会計	款	項	目	担当	R5
	対象(誰を・何を)	市民								
事務事業の概要	目的 (どうしたいのか)	国民保護法に基づき、日本に対する外部からの武力攻撃に備え、市及び国・府等の関係機関の責務や国民の保護のための措置などを定めた計画を作成し、危機管理体制の充実をはかる。								
	手段 (事業内容)	羽曳野市国民保護協議会を開催し、既存の計画を変更する。								
総計に基づく 事業の進捗状況	(R5年度)	B	概ね順調である	R6年度	実施の方向性	実施				

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

基本事業名	新型インフルエンザ等対策		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民等				
基本事業コード	211-02-01			目的	生命と健康を保護し、生活への影響を少なくする。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	1	危機管理							
施策の方向	1	危機管理体制の充実							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	13 気候変動				17 実施手段		-

事務事業名		新型インフルエンザ等対策事業					事務事業コード		211-02-01									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)		予算科目	会計	1	款	4	項	1	目	2	担当	R5	健康増進課	R6	健康増進課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市民														特記事項		
	目的(どうしたいのか)	新型インフルエンザ等感染症発生時、市民の生命及び健康を脅かすとともに、社会機能に深刻な影響を与える恐れがある。その影響を最小限に止めるため業務継続計画、マニュアル等を作成し対策を検討する。																
	手段(事業内容)	地域防災計画、休日急病診療所BCP、対策マニュアル等策定、必要物品・薬品の購入																
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	C	やや遅れている		R6年度	実施の方向性		実施										
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費	85	28	0		有効性	A	事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる									
		特定財源等	0	0	0		効率性	A	事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる									
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	新型インフルエンザ対策に係る課内会議			単位	回	指標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度							
	指標の説明	課内会議の回数					0		0	0								
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	進捗管理のための会議開催			単位	回	指標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度								
	指標の説明	業務継続計画やマニュアル等の策定						0	0	0								

基本事業名	危機事象への対応強化		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員・市民等				
基本事業コード	212-01-21			目的	危機事象による被害の発生や拡大を防止する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らくまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	1	危機管理		職員向け危機管理研修実施回数(累計)		回		2	5
施策の方向	2	危機事象等への対応強化							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	13 気候変動				17 実施手段		-

事務事業名		低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援給付金				事務事業コード		212-01-21				
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当 R5	子育て給付課	R6	こども政策課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	令和4年4月分の児童扶養手当の受給者、公的年金給付等を受けていることにより令和4年4月分の児童扶養手当の支給を受けていない者、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し要件を満たす者、令和4年4月分の児								特記事項		
	目的(どうしたいのか)	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、食費等による支出の増加の影響を勘案し給付金を支給										
	手段(事業内容)	上記対象となる児童1人につき50,000円を支給										
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	-	達成・終了	R6年度	実施の方向性			-				

基本事業名	危機事象への対応強化		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員・市民等				
基本事業コード	212-01-22			目的	危機事象による被害の発生や拡大を防止する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	1	危機管理		職員向け危機管理研修実施回数(累計)		回		2	5
施策の方向	2	危機事象等への対応強化							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	13 気候変動				17 実施手段		-

事務事業名		生活文化情報センター空調機器更新事業				事務事業コード		212-01-22			
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当 R5	生涯学習課 R6	生涯学習課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	館を利用する不特定多数の方々									
	目的(どうしたいのか)	開館から20年を迎え、設備等の耐用年数を考慮して設備更新を行い施設の機能維持に努める。									
	手段(事業内容)	空調機器の入替更新を行う。									
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A	順調である	R6年度	実施の方向性	実施					

基本事業名		危機事象への対応強化		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員・市民等				
基本事業コード	212-01-23		第6次羽曳野市総合基本計画		目的	危機事象による被害の発生や拡大を防止する。				
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らくまち			総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)
施策	1	危機管理	職員向け危機管理研修実施回数(累計)			回		2	5	
施策の方向	2	危機事象等への対応強化	○							
まちづくりの 戦略	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり									
	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり									
		(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs		11	都市	13	気候変動	17	実施手段	-		

事務事業名		公共施設における感染対策事業				事務事業コード		212-01-23						
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	款	項	目	担当	R5	市民協働ふれあい課	R6	市民協働ふれあい課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	施設利用をしたい市民対象												
	目的(どうしたいのか)	施設利用者のために新型コロナウイルス感染症の感染対策をおこなう。												
	手段(事業内容)	アルコール消毒の設置、貸室の定員の半分の利用制限、備品のアルコール消毒、換気、パーティションの設置、マスクの着用のご案内などの実施												
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A	順調である		R6年度	実施の方向性		完了見込						
特記事項														

基本事業名	危機事象への対応強化		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員・市民等				
基本事業コード	212-01-26			目的	危機事象による被害の発生や拡大を防止する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	1	危機管理		職員向け危機管理研修実施回数(累計)		回		2	5
施策の方向	2	危機事象等への対応強化							
まちづくりの 戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	13 気候変動				17 実施手段		-

事務事業名		多子世帯学校給食費支援事業				事務事業コード		212-01-26	
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当 R5
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	多子世帯(18歳以下の子が3人以上いる世帯)のうち、市立小・中・義務教育学校で学校給食の提供を受けている児童・生徒の保護者							特記事項
	目的(どうしたいのか)								
	手段(事業内容)	受付期間中に申請し、助成要件を満たしている保護者に対し、令和4年度分の学校給食費として小学生では低学年47,000円、高学年49,000円を、中学生では学校給食利用者に実費の半額を助成。							
総計に基づく 事業の進捗状況	(R5年度)	-	達成・終了	R6年度	実施の方向性	-			
<p>令和4年度分の学校給食費に対する助成事業であるが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に充当となり予算を繰越したため、助成額の決定及び交付については令和5年度となっている。</p>									

基本事業名	危機事象への対応強化		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員・市民等				
基本事業コード	212-01-28			目的	危機事象による被害の発生や拡大を防止する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	1	危機管理		職員向け危機管理研修実施回数(累計)		回		2	5
施策の方向	2	危機事象等への対応強化							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	13 気候変動				17 実施手段		-

事務事業名		市立学校屋内運動場空調設備設置事業				事務事業コード		212-01-28				
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当 R5	教育政策課	R6	教育政策課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	児童、生徒、教職員および地域住民										
	目的(どうしたいのか)	季節に応じた温度管理により、市立小中学校及び義務教育学校の屋内運動場利用時における児童・生徒の熱中症対策及び避難所としての環境改善を図る。										
	手段(事業内容)	安全な教育・避難所環境を提供するため、計画的に設備工事を行う。										
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	-	達成・終了	R6年度	実施の方向性	-						

基本事業名	危機事象への対応強化		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員・市民等				
基本事業コード	212-01-32			目的	危機事象による被害の発生や拡大を防止する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らくまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	1	危機管理		職員向け危機管理研修実施回数(累計)		回		2	5
施策の方向	2	危機事象等への対応強化							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	13 気候変動				17 実施手段		-

事務事業名		農業者支援事業					事務事業コード		212-01-32									
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	6	項	1	目	3	担当	R5	農とみどり推進課	R6	農とみどり推進課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	農業者(法人含む)															
		目的(どうしたいのか)	農業資材等価格高騰に伴う農業者の経済的負担を軽減する。															
		手段(事業内容)	大阪府肥料価格高騰緊急対策支援金への上乗せにより、より幅広い農業者支援を行う。															
総計に基づく事業の進捗状況		(R5年度)	-	達成・終了		R6年度	実施の方向性		-			特記事項						
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	個別評価	妥当性											
	決算額	事業費	-	15,690	-		有効性											
		特定財源等	-	15,690	-		効率性											
活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	支援金支給件数			単位	件	指標実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度							
	指標の説明	農業者(法人含む)							-	130	-							
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名				単位		指標実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度							
	指標の説明								-	-	-							

基本事業名		危機事象への対応強化		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員・市民等				
基本事業コード	212-01-33		第6次羽曳野市総合基本計画		目的	危機事象による被害の発生や拡大を防止する。				
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち			総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)
施策	1	危機管理		職員向け危機管理研修実施回数(累計)		回		2	5	
施策の方向	2	危機事象等への対応強化								
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs			11 都市		13 気候変動			17 実施手段	-	

事務事業名		キャッシュレス決済ポイント還元事業				事務事業コード		212-01-33									
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	1	款	7	項	1	目	2	担当	R5	経済労働課	R6	経済労働課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者及び事業者														
		目的(どうしたいのか)	市民生活の一助及び市内経済活性化を図るとともに、非接触のキャッシュレス決済を普及させるため														
		手段(事業内容)	市内の対象店舗において、商品・サービス等をバーコード又は二次元コードのキャッシュレス決済により購入・利用した方に、所定のキャッシュレス決済ポイントを付与した。														
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	-	達成・終了	R6年度	実施の方向性	-											

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

基本事業名	危機事象への対応強化		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員・市民等				
基本事業コード	212-01-34	第6次羽曳野市総合基本計画		目的	危機事象による被害の発生や拡大を防止する。				
施策目標	2			地域がつながり安全で心安らぐまち	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	1		危機管理	総合基本計画 目標指標	職員向け危機管理研修実施回数(累計)	回		2	5
施策の方向	2	危機事象等への対応強化							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	13 気候変動			17 実施手段		-	

事務事業名		学校給食支援事業				事務事業コード		212-01-34									
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	1	款	10	項	6	目	2	担当	R5	食育・給食課	R6	食育・給食課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	ア. 市立小学校及び義務教育学校前期課程: 羽曳野市学校給食会 イ. 市立中学校及び義務教育学校後期課程: 中学校給食調理等委託事業者															
	目的(どうしたいのか)	食材費等の物価高騰による市立小学校、中学校及び義務教育学校に通う児童又は生徒の保護者負担を増やすことなく、安定的な学校給食を実施する。															
	手段(事業内容)	学校給食の食材等を購入する事業者等に対して、食材費等の値上がりの一部分を学校給食費保護者負担支援金として支給する。															
特記事項																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A	順調である	R6年度	実施の方向性	実施											

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

基本事業名	危機事象への対応強化		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員・市民等				
基本事業コード	212-01-35			目的	危機事象による被害の発生や拡大を防止する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らくまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	1	危機管理		職員向け危機管理研修実施回数(累計)		回		2	5
施策の方向	2	危機事象等への対応強化							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	13 気候変動				17 実施手段		-

事務事業名		民間保育施設等物価高騰対策一時支援金事業					事務事業コード		212-01-35									
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	3	項	2	目	2 8	担当	R5	子ども保育課	R6	子ども保育課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	民間保育施設10施設、民間認可外保育施設10施設															
		目的(どうしたいのか)	コロナ禍における、エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う事業者の経済的負担の軽減を図るため															
		手段(事業内容)	運営にかかる光熱費の価格高騰分を支援															
総計に基づく事業の進捗状況		(R5年度)	-	達成・終了	R6年度	実施の方向性	-											
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費			2,577		有効性	A	事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる									
		特定財源等			2,577		効率性	A	事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる									
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	支援事業者数			単位	施設	指標実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度						
	指標の説明	事業者数									20							
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	実施支援事業者数			単位	施設	指標実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度							
	指標の説明	事業者数									20							

基本事業名		危機事象への対応強化		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員・市民等				
基本事業コード	212-01-36		第6次羽曳野市総合基本計画		目的	危機事象による被害の発生や拡大を防止する。				
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らくまち			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	1	危機管理	職員向け危機管理研修実施回数(累計)	回			2	5		
施策の方向	2	危機事象等への対応強化								
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs		11	都市	13	気候変動	17	実施手段	-		

事務事業名		障害者施設等物価高騰対策一時支援金事業				事務事業コード		212-01-36									
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	1	款	3	項	1	目	2	担当	R5	障害福祉課	R6	障害福祉課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	市内社会福祉施設等														
		目的(どうしたいのか)	エネルギー価格高騰に伴う事業者の経済的負担を軽減する。														
		手段(事業内容)	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金における「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」を活用し事業者へ支給する。														
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	-	達成・終了	R6年度	実施の方向性	-	特記事項										

基本事業名	危機事象への対応強化		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員・市民等				
基本事業コード	212-01-37			目的	危機事象による被害の発生や拡大を防止する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	1	危機管理		職員向け危機管理研修実施回数(累計)		回		2	5
施策の方向	2	危機事象等への対応強化							
まちづくりの 戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	13 気候変動				17 実施手段		-

事務事業名		介護保険施設等物価高騰対策一時支援金事業					事務事業コード		212-01-37								
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	1	款	3	項	1	目	1 3	担当	R5	高年介護課	R6	高年介護課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	羽曳野市内に所在する介護保険施設等を運営する事業者										特記事項				
		目的(どうしたいのか)	物価高騰が経営に与える影響を軽減する														
		手段(事業内容)	サービスの種別や定員数などに応じた一時支援金の支給														
総計に基づく 事業の進捗状況	(R5年度)	-	達成・終了	R6年度	実施の方向性	-											

基本事業名	危機事象への対応強化		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員・市民等				
基本事業コード	212-01-38			目的	危機事象による被害の発生や拡大を防止する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らくまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	1	危機管理		職員向け危機管理研修実施回数(累計)		回		2	5
施策の方向	2	危機事象等への対応強化							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	13 気候変動				17 実施手段		-

事務事業名		医療機関等物価高騰対策一時支援金事業					事務事業コード		212-01-38								
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	1	款	4	項	1	目	1	担当	R5	健康増進課	R6	健康増進課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	令和5年6月1日時点で羽曳野市内において開設している健康保険法(大正11年法律第70号)第63条第3項第1号に規定する保険医療機関又は保険薬局										特記事項	令和5年度のみ実施			
		目的(どうしたいのか)	エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う事業者の経済的負担の軽減を目的として、羽曳野市内の医療機関等施設に対して支援金を支給する。														
		手段(事業内容)	申請書類の申請による支援金の支給。														
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	-	達成・終了	R6年度	実施の方向性	-											

基本事業名	危機事象への対応強化		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員・市民等				
基本事業コード	212-01-39			目的	危機事象による被害の発生や拡大を防止する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	1	危機管理		職員向け危機管理研修実施回数(累計)		回		2	5
施策の方向	2	危機事象等への対応強化							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	13 気候変動				17 実施手段		-

事務事業名		公立保育園・幼稚園等エネルギー価格等高騰支援事業				事務事業コード		212-01-39			
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当 R5	こども保育課 R6	こども保育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	公立保育園・幼稚園・認定こども園								特記事項	
	目的(どうしたいのか)	コロナ禍における、エネルギー価格・食料品価格高騰の影響を受ける公立幼稚園・保育園・こども園において、児童の良好な保育環境等を確保し、施設の安定した管理運営を継続する。									
	手段(事業内容)	地方創生臨時交付金をエネルギー価格・食料品価格高騰分に充当する。									
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	-	達成・終了	R6年度	実施の方向性	-					

基本事業名	危機事象への対応強化		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員・市民等				
基本事業コード	212-01-40			目的	危機事象による被害の発生や拡大を防止する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	1	危機管理		職員向け危機管理研修実施回数(累計)		回		2	5
施策の方向	2	危機事象等への対応強化							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市		13 気候変動			17 実施手段		-

事務事業名		指定管理施設エネルギー価格高騰支援事業				事務事業コード		212-01-40				
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当 R5	行政改革課	R6	行政改革課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	指定管理者(指定管理者制度を導入する14施設※)								特記事項		
	目的(どうしたいのか)	エネルギー価格高騰に伴う光熱費の上昇にかかる指定管理者の経済的負担を軽減し、直接市民の用に供する施設の安定した管理運営の継続を支援する。										
	手段(事業内容)	エネルギー価格高騰分の支援を行う。										
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A	順調である	R6年度	実施の方向性	実施						

基本事業名	危機事象への対応強化		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員・市民等				
基本事業コード	212-01-41			目的	危機事象による被害の発生や拡大を防止する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らくまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	1	危機管理		職員向け危機管理研修実施回数(累計)		回		2	5
施策の方向	2	危機事象等への対応強化							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	13 気候変動				17 実施手段		-

事務事業名		公立学校施設エネルギー価格高騰支援事業					事務事業コード		212-01-41								
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	1	款	10	項	2	目	1	担当	R5	教育政策課	R6	教育政策課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市立小中学校及び義務教育学校															
	目的(どうしたいのか)	児童・生徒の良好な学習環境等を確保し、学校施設の安定した管理運営の継続を図る。															
	手段(事業内容)	電気価格高騰分に充当															
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A	順調である	R6年度	実施の方向性	実施											

特記事項

基本事業名		危機事象への対応強化		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員・市民等				
基本事業コード	212-01-42		第6次羽曳野市総合基本計画		目的	危機事象による被害の発生や拡大を防止する。				
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らくまち			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	1	危機管理	職員向け危機管理研修実施回数(累計)	回			2	5		
施策の方向	2	危機事象等への対応強化								
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs		11	都市	13	気候変動	17	実施手段	-		

事務事業名		下水道事業エネルギー価格高騰支援事業						事務事業コード		212-01-42							
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	1	款	8	項	4	目	6	担当	R5	下水道総務課	R6	下水道総務課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	下水道事業														
		目的(どうしたいのか)	事業の安定した運営														
		手段(事業内容)	下水道事業に対し補助金を交付し、光熱費高騰による維持管理費増加を緩やかすることで、下水道事業の経営安定を図る。														
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A	順調である	R6年度	実施の方向性	完了見込											

基本事業名	危機事象への対応強化		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員・市民等				
基本事業コード	212-01-43			目的	危機事象による被害の発生や拡大を防止する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	1	危機管理		職員向け危機管理研修実施回数(累計)		回		2	5
施策の方向	2	危機事象等への対応強化							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	13 気候変動				17 実施手段		-

事務事業名		中小企業等エネルギー価格高騰支援事業				事務事業コード		212-01-43									
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	1	款	7	項	1	目	2	担当	R5	経済労働課	R6	経済労働課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	エネルギー価格の高騰により影響を受ける、羽曳野市内に事業所を有する事業者又は本市に住所を有する個人事業主															
	目的(どうしたいのか)	事業の継続を支援することを目的として羽曳野市中小企業等エネルギー価格高騰支援金															
	手段(事業内容)	期間中の対象経費の合計額に応じ、3万円から18万円までの5つの区分で規定した金額を交付した。															
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	E	未実施(開始見込み無し)	R6年度	実施の方向性	実施											
特記事項 予算は令和5年度12月で成立したのち、令和6年度に明許繰越して実施したもの。令和6年8月31日付事業完了。令和6年度での執行額は委託料：9,974,800円、支援金：26,820,000円																	

基本事業名		防災・減災体制の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員・市民等				
基本事業コード	221-01-01		第6次羽曳野市総合基本計画		目的	災害への対応力を高める。				
実施目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	2	防災・減災		自主防災組織編成率		%	34	30	65	
施策の方向	1	防災体制の充実と意識の高揚	まちづくりの 戦略							
	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり								
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり								
		(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs			11 都市	13 気候変動	6 水・衛生	15 陸上資源	17 実施手段	-		

事務事業名		防災行政無線整備事業					事務事業コード		221-01-01											
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	9	項	1	目	5	担当	R5	危機対策室	R6	危機対策室		
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	避難所運営職員と避難者																		
	目的(どうしたいのか)	防災行政無線を市内全域に網羅できるよう整備を行い、災害時に情報伝達ができるよう定期的に保守点検や訓練を行う。また、大規模災害時において電話回線等の通信手段が途絶した時、災害対策本部と各種避難所との連絡手段を確保し情報の共有を行う。																		
	手段(事業内容)	市内25カ所に設置している災害用無線機の保守点検や訓練を行う。また、各種避難所に対して順次移動系防災行政無線を配備し、災害時の確実な通信手段の確立を図る。																		
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A		順調である		R6年度		実施の方向性		実施			特記事項							
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度		個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費	792	536	0			有効性	A		事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる									
		特定財源等			0			効率性	A		事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる									
活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	移動系防災行政無線配備台数			単位	台		指標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度									
		指標の説明	各種避難所への配備台数						56	59	59									
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	移動系防災行政無線配備率			単位	%		令和3年度	令和4年度	令和5年度									
		指標の説明	施設中29ヶ所配備					97	100	100										

基本事業名	防災・減災体制の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員・市民等				
基本事業コード	221-01-02	第6次羽曳野市総合基本計画		目的	災害への対応力を高める。				
実施目標	2			地域がつながり安全で心安らぐまち	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	2		防災・減災	総合基本計画 目標指標	自主防災組織編成率	%	34	30	65
施策の方向	1	防災体制の充実と意識の高揚							
まちづくりの 戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	13 気候変動	6 水・衛生	15 陸上資源	17 実施手段	-		

事務事業名		三市総合震災演習実施事業					事務事業コード		221-01-02														
継続・新規	隔年または不定期	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	9	項	1	目	2	担当	R5	危機対策室	R6	危機対策室					
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	柏原市・羽曳野市・藤井寺市の市民																					
	目的(どうしたいのか)	災害に備え、安全なまちづくりを進めていくために、「自助」「共助」「公助」がそれぞれ連携し、市民一人ひとりの危機管理意識の向上と現在実施している防災減災施策の周知を図り、総合的な災害対応力を高めることを目的とする。																					
	手段(事業内容)	三市分担金計3,600千円の予算で防災フェアを開催する。防災関連用品や車両の展示、消防訓練等の見学に加え、様々な体験型のコーナーを設けて実際に体験してもらう。																					
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	-	達成・終了		R6年度	実施の方向性		実施			特記事項 三市合同防災フェアは2年に1度の開催であり、令和5年度は実施なし。次回は令和6年度実施予定。												
自己評価	(単位：千円)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる														
	決算額	事業費	-	1,200,000		0	有効性	A		事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる													
		特定財源等	-	-		0	効率性	A		事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる													
活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	会議日数			単位	日		指標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度												
	指標の説明	三市総合震災演習開催にあたり会議を行った日数							-	7	0												
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	来場者数			単位	人		指標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度												
	指標の説明	来場者数							-	3,000	0												

基本事業名	防災・減災体制の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員・市民等				
基本事業コード	221-01-03			目的	災害への対応力を高める。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	2	防災・減災		自主防災組織編成率		%	34	30	65
施策の方向	1	防災体制の充実と意識の高揚							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs					6	水・衛生			
		11 都市		13 気候変動		15 陸上資源		17 実施手段	-

事務事業名		自主防災組織育成事業					事務事業コード		221-01-03									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	9	項	1	目	5	担当	R5	危機管理課	R6	危機管理課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	自主防災組織																
	目的(どうしたいのか)	自主防災組織の地域連携や防災意識の向上を図り、市全域に自主防災組織を設置及び連携し、災害時の地域力を高める。																
	手段(事業内容)	災害時に指定避難所となる各小学校に対して、コミュニティ助成制度を利用して、救助用備蓄資機材を配備し、各種防災訓練の実施を促すとともに、指導や援助を行う。																
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A		順調である		R6年度		実施の方向性		実施			特記事項					
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度		個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
	決算額	事業費			1,672			有効性	A		事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる							
		特定財源等						効率性	A		事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる							
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	町会もしくは自主防災組織主催訓練の開催数			単位	回		指標実績			令和3年度	令和4年度	令和5年度				
	指標の説明	市内の防災訓練開催数(小学校区単位)									5	5						
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	自主防災組織の組織率			単位	%		指標実績			令和3年度	令和4年度	令和5年度					
	指標の説明	50,376世帯中15,143世帯加入(令和2年3月31日現在)								30	30	63						

基本事業名	防災・減災体制の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員・市民等				
基本事業コード	221-01-05			目的	災害への対応力を高める。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らくまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	2	防災・減災		自主防災組織編成率		%	34	30	65
施策の方向	1	防災体制の充実と意識の高揚							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	13 気候変動	6 水・衛生					
				15 陸上資源			17 実施手段		-

事務事業名		地域防災計画進行管理事業				事務事業コード		221-01-05	
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当 R5
	対象(誰を・何を)	職員・市民等							特記事項
事務事業の概要	目的(どうしたいのか)	災害対策基本法に基づき、災害発生時の応急対策や復旧など災害に係る事務・業務に関して市の実情に即した計画を作成し、防災体制の充実を図る。							
	手段(事業内容)	羽曳野市防災会議を開催し、必要に応じて計画を修正する。							
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A	順調である	R6年度	実施の方向性	実施			

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

基本事業名	防災意識の高揚		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民等					
基本事業コード	221-02-01			目的	自助・共助・公助の活動が効果的になされるようにする。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らくまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策	2	防災・減災		非常時持ち出し品や災害時の備蓄品を準備している市民の割合		%	-	未集計	60	
施策の方向	1	防災体制の充実と意識の高揚								
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs		11 都市	13 気候変動	6 水・衛生	15 陸上資源		17 実施手段	-		

事務事業名		防災講演会開催事業					事務事業コード		221-02-01														
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	9	項	1	目	5	担当	R5	危機管理課	R6	危機管理課					
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市民																					
	目的(どうしたいのか)	家庭や地域における防災・減災対策意識の浸透を図る。																					
	手段(事業内容)	市内の中学校において、専門の講師による講演会を実施する。																					
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A		順調である		R6年度		実施の方向性		実施			特記事項										
自己評価	(単位:千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度		個別評価		妥当性	A							実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
	決算額	事業費			99		198			有効性	A							事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる					
		特定財源等								効率性	A							事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる					
活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	開催数		単位		回		指標実績		令和3年度	令和4年度		令和5年度										
	指標の説明	市主催防災講演会開催数									1		2										
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	参加者数		単位		人		指標実績		令和3年度	令和4年度		令和5年度										
	指標の説明	市主催防災講演会参加者数									200		100										

基本事業名	防災意識の高揚		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民等				
基本事業コード	221-02-02			目的	自助・共助・公助の活動が効果的になされるようにする。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	2	防災・減災		非常時持ち出し品や災害時の備蓄品を準備している市民の割合		%	-	未集計	60
施策の方向	1	防災体制の充実と意識の高揚							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	13 気候変動	6 水・衛生	15 陸上資源		17 実施手段	-	

事務事業名		防災講座・防災研修開催事業					事務事業コード		221-02-02											
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	9	項	1	目	5	担当	R5	危機管理課	R6	危機管理課		
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	職員・市民等																	
		目的(どうしたいのか)	災害発生時において的確な判断や行動がとれるよう防災に関する自助・共助の意識や知識の向上を図る。																	
		手段(事業内容)	①市職員への防災研修や訓練の実施。②小学生を対象とした「こども防災教室」の開催。③地域・団体等からの要請に基づく防災講習会等の実施																	
総計に基づく事業の進捗状況		(R5年度)	A	順調である		R6年度	実施の方向性		実施			特記事項								
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	個別評価		妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費		253	352			有効性	A		事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる									
		特定財源等						効率性	A		事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる									
活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名	開催数		単位	回	指標実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度									
		指標の説明	防災研修・訓練及び講座開催数							13	19									
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名	参加数		単位	人	指標実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度									
		指標の説明	防災研修・訓練及び講座参加者数							1,000	1,000									

基本事業名	被災者援護		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	被災した市民				
基本事業コード	222-01-01			目的	生活の再建を支援する。				
第6次羽曳野市総合基本計画				指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らくまち	総合基本計画 目標指標						
施策	2	防災・減災							
施策の方向	2	災害対策の推進							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	13 気候変動	6 水・衛生					
				15 陸上資源			17 実施手段	-	

事務事業名		災害弔慰金等支給事務事業				事務事業コード		222-01-01	
継続・新規	継続	法定・自治	法定受託事務	予算科目	会計	款	項	目	担当 R5
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	災害で被害を受けた市民							特記事項
	目的(どうしたいのか)	被災者の生活再建の一助とする。							
	手段(事業内容)	災害見舞金：1世帯 30,000円(全焼・全壊・流出) 15,000円(半焼・半壊) 10,000円(床上浸水) 死亡弔慰金：1人 30,000円 激甚災害に指定された災害で亡くなった場合。							
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A	順調である	R6年度	実施の方向性	実施			

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

基本事業名	水害への対策		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	222-02-01			目的	水害や土砂災害による被害を防止し、市民の安全を確保する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	2	防災・減災							
施策の方向	2	災害対策の推進							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	13 気候変動	6 水・衛生	15 陸上資源		17 実施手段		-

事務事業名		水防事業				事務事業コード		222-02-01										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)		予算科目	会計	1	款	9	項	1	目	4	担当	R5	危機対策室	R6	危機対策室
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市民																
	目的(どうしたいのか)	職員や水防団の警戒出動により被害の防止を図る。																
	手段(事業内容)	台風やゲリラ豪雨等により河川の氾濫や土砂崩れの恐れがある場合に、巡回や避難等に関する広報を行う。土のう積み等の事前対策を行い、被害の拡大を防止し市民の安全を確保する。																
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A		順調である		R6年度		実施の方向性		実施								
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度		個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
	決算額	事業費	377	537	583			有効性	A		事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる							
		特定財源等			0			効率性	A		事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる							
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	出動件数			単位	件		指標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度						
指標の説明		水防団出動回数						4			3							
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	出動人数			単位	人		指標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度							
	指標の説明	水防団出動人数							33		67							

基本事業名	災害時支援体制の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民					
基本事業コード	222-03-01			目的	災害時に必要となる備えを確保しておく。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち		総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	2	防災・減災								
施策の方向	2	災害対策の推進								
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs		11	都市	13	気候変動	6	水・衛生			
						15	陸上資源		17	実施手段
										-

事務事業名		災害用物資備蓄事業					事務事業コード		222-03-01											
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)		予算科目	会計	1	款	9	項	1	目	5	担当	R5	危機対策室	R6	危機対策室		
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	災害発生時の被災者																		
	目的(どうしたいのか)	市民や被災者に対して食糧や飲料水、毛布、灯りなどの安心等を提供する。																		
	手段(事業内容)	災害発生時に備えて、計画的に食糧や資機材等を備蓄する。																		
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A		順調である		R6年度		実施の方向性		実施			特記事項							
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	個別評価		妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費	5,022	3,200	4,869			有効性	A		事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる									
		特定財源等			0			効率性	A		事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる									
活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	備蓄食料・資機材購入累計額			単位	千円		指標実績			令和3年度	令和4年度	令和5年度							
	指標の説明	平成26年度から備蓄食料・資機材購入に係る累計額					52,296				52,796	57,665								
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	備蓄の種類			単位	種類		指標実績			令和3年度	令和4年度	令和5年度							
	指標の説明	備蓄の種類数					23				23	23								

基本事業名		災害時支援体制の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	222-03-02		第6次羽曳野市総合基本計画		目的	災害時に必要となる備えを確保しておく。				
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	2	防災・減災								
施策の方向	2	災害対策の推進								
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs		11 都市	13 気候変動	6 水・衛生	15 陸上資源	17 実施手段	-			

事務事業名		受援計画策定事務事業				事務事業コード		222-03-02			
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当 R5	危機管理課 R6	危機管理課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	職員								
		目的(どうしたいのか)	近年の大規模自然災害においては、被災自治体のみで対応することは困難であり、外部(国・大阪府・他市・関係機関・ボランティア等)からの人的、物的な応援支援を迅速かつ的確に受入れ、各種業務を執行していく。								
		手段(事業内容)	計画を策定し人的・物的支援の受入について明確にする。								
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A	順調である	R6年度	実施の方向性	実施					
特記事項											

基本事業名	消防体制の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	消防組合・消防団等					
基本事業コード	231-01-04	第6次羽曳野市総合基本計画		目的	安心・安全な市民生活を確保する。					
施策目標	2			地域がつながり安全で心安らくまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	3	消防・救急								
施策の方向	1	消防体制の充実								
まちづくりの 戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり								
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり								
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs			3	保健						
		11	都市				17	実施手段		-

事務事業名		柏原羽曳野藤井寺消防組合負担金事務事業				事務事業コード		231-01-04				
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当 R5	危機対策室	R6	危機対策室
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	柏原羽曳野藤井寺消防組合										
	目的(どうしたいのか)	常備消防力として、柏原・羽曳野・藤井寺の3市で構成する一部事務組合である「柏原羽曳野藤井寺消防組合」の機能の維持、充実強化を図り、市民の安全・安心の確保に努める。										
	手段(事業内容)	均等割・世帯数割により運営費を三市で負担する。										
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	-	達成・終了	R6年度	実施の方向性	-						

基本事業名		救命設備の確保		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民等				
基本事業コード	233-01-01		第6次羽曳野市総合基本計画		目的	救命率の向上を図る。				
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らくまち			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	3	消防・救急	普通救命講習受講者数	人		1,140	773	2,200		
施策の方向	3	救急救助活動の充実								
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs			3	保健						
		11	都市				17	実施手段	-	

事務事業名		公共施設におけるAED設置事務事業				事務事業コード		233-01-01	
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当 R5
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	公共施設利用者							特記事項
	目的(どうしたいのか)	市民等が安心して公共施設を利用できるよう、公共施設にAEDを設置し、不測の事態に備える。							
	手段(事業内容)	市内の公共施設にAEDを設置。							
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	B	概ね順調である	R6年度	実施の方向性	実施			
<p>令和5年度は健康増進課で機器耐用期限を迎える2台を購入。</p>									

基本事業名		救命設備の確保		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民等					
基本事業コード	233-01-02		第6次羽曳野市総合基本計画		目的	救命率の向上を図る。					
実施目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち			指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)		
施策	3	消防・救急		総合基本計画 目標指標	普通救命講習受講者数	人	1,140	773	2,200		
施策の方向	3	救急救助活動の充実									
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり									
関連SDGs		11	都市	3	保健				17	実施手段	-

事務事業名		市内コンビニエンスストア等におけるAED設置事務事業					事務事業コード		233-01-02					
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	款	項	目	担当	R5	危機管理課	R6	危機管理課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市内コンビニエンスストア等におけるAED設置数										特記事項		
	目的(どうしたいのか)	羽曳野市内の救命率向上を目的に、AEDの設置を増やす。												
	手段(事業内容)	24時間営業のコンビニエンスストアや交番にAEDの設置を行う。												
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	-	達成・終了		R6年度	実施の方向性		-						
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
	決算額	事業費			990		有効性	A	事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる					
		特定財源等			0		効率性	A	事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる					
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	設置台数			単位	台	指標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
指標の説明	市内のコンビニエンスストアや交番に設置している台数									31				
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	使用回数			単位	回	指標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
指標の説明	心肺蘇生のために使用した回数									0				

基本事業名	地域の自主的な防犯活動の支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	自治会等						
基本事業コード	241-01-01			目的	地域の防犯力向上を図る。						
第6次羽曳野市総合基本計画											
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち		総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策	4	防犯			刑法犯認知件数		件	1,672	483	480	
施策の方向	1	防犯体制の充実・強化									
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり									
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり									
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり									
関連SDGs		11	都市				16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		歳末夜警実施事業					事務事業コード		241-01-01										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	2	項	1	目	1	4	担当	R5	危機対策室	R6	危機対策室
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	歳末夜警を実施している自治会等																	
	目的(どうしたいのか)	防犯活動の推進と防犯意識の向上を図る。																	
	手段(事業内容)	羽曳野市・羽曳野市連合区長会・羽曳野警察署・羽曳野警察署管内防犯協議会・柏羽藤消防組合・羽曳野市消防団・大阪府議会が5つの班にわかれて、歳末夜警実施自治会等に陣中見舞い及び謝礼金の贈呈を行う。																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A		順調である		R6年度		実施の方向性		実施			特記事項						
自己評価	(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる						
	決算額	事業費	1,020		1,120		1,350			有効性	A		事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる						
		特定財源等					0			効率性	B		事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、見直しの余地があると考えられる						
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	訪問した自治会数				単位	箇所		指標実績	令和3年度		令和4年度		令和5年度				
指標の説明		陣中見舞いで訪問した自治会数							102		112		135						
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	歳末夜警実施団体				単位	団体		指標実績	令和3年度		令和4年度		令和5年度					
	指標の説明	歳末夜警を実施している自治会等								102		112		135					

基本事業名	防犯体制の充実・強化		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	241-02-01	第6次羽曳野市総合基本計画		目的	安全な生活環境の確保を図る。				
施策目標	2			地域がつながり安全で心安らくまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)
施策	4		防犯						
施策の方向	1	防犯体制の充実・強化							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市			16 平和	17 実施手段		-	

事務事業名		青色回転灯防犯パトロール事業				事務事業コード		241-02-01				
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当 R5	次世代育成課	R6	次世代育成課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	児童、市民										
	目的(どうしたいのか)	児童や市民の安全を確保するとともに、防犯意識の醸成を図る。										
	手段(事業内容)	青色回転灯を装備した車両(以下「青パト」という。)を用いて、再任用職員等が児童の登下校時間に合わせ市内小学校の通学路などを中心に防犯パトロール活動を行うほか、災害や有害獣の出没など市民の安全が脅かされる事態において、市民に対する注意喚起活動を行う。										
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A	順調である	R6年度	実施の方向性	実施						

基本事業名	防犯意識の向上		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民					
基本事業コード	242-01-01			目的	防犯意識の向上を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名			単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	4	防犯								
施策の方向	2	防犯活動の推進と意識の高揚								
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs		11 都市				16 平和	17 実施手段			-

事務事業名		防犯協議会助成事務事業				事務事業コード		242-01-01				
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当 R5	危機対策室	R6	危機対策室
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野警察署管内防犯協議会										
	目的(どうしたいのか)	羽曳野市と藤井寺市の両市管内の犯罪抑止、地域の安全なまちづくり、防犯環境整備等の活動を目的とした協議会の運営を支援し、地域の防犯力の向上を推進する。										
	手段(事業内容)	羽曳野市と藤井寺市で支出する負担金を人口割で行うとともに、羽曳野警察署管内防犯協議会補助金交付要綱に基づき特別助成金を支払う。										
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A	順調である	R6年度	実施の方向性	実施						

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

基本事業名	防犯設備の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	地域				
基本事業コード	242-02-01			目的	犯罪の抑止と発生後の早期解決を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画				指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	防犯カメラ設置台数(累計)		台	61	246	285
施策	4	防犯							
施策の方向	2	防犯活動の推進と意識の高揚							
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市				16 平和	17 実施手段	-	

事務事業名		防犯灯設置支援事業				事務事業コード		242-02-01											
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	2	項	1	目	1	4	担当	R5	危機対策室	R6	危機対策室
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	防犯灯を設置及び管理する自治会等													特記事項			
		目的(どうしたいのか)	暗がりの少ない、明るい安全なまちづくりの推進を図る。																
		手段(事業内容)	自治会等が防犯灯を新設する際に、既設の支柱等に設置する場合は1灯につき8,000円、新たに支柱を設ける場合は1灯につき10,000円を予算の範囲内で早期申請順に支給。管理している防犯灯の維持管理のための費用等に対して、1灯につき2,500円を支給。																
総計に基づく事業の進捗状況		(R5年度)	A	順調である		R6年度	実施の方向性		実施										
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
	決算額	事業費	26,485	26,545	45,148		有効性	A	事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる										
		特定財源等			0		効率性	A	事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる										
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名	補助金交付団体数		単位	団体	指標実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度							
		指標の説明	設置費及び維持管理費の補助金を交付した団体数						271	283	215								
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名	維持管理補助金交付灯数		単位	灯	指標実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度								
		指標の説明	維持管理費として補助金を交付した灯数						9,978	9,997	10,033								

基本事業名	防犯設備の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	地域			
基本事業コード	242-02-02			目的	犯罪の抑止と発生後の早期解決を図る。			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	4	防犯		防犯カメラ設置台数(累計)	台	61	246	285
施策の方向	2	防犯活動の推進と意識の高揚						
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						
関連SDGs		11 都市			16 平和	17 実施手段		-

事務事業名		防犯カメラ設置促進事業				事務事業コード		242-02-02										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	1	款	2	項	1	目	1	4	担当	R5	危機対策室	R6	危機対策室
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	防犯カメラを設置しようとする自治会等																
	目的(どうしたいのか)	街頭犯罪等の抑止を図る。																
	手段(事業内容)	自治会等が防犯カメラを設置する際の費用の一部を負担することにより、市内における防犯カメラの設置を促進する。設置に要した費用の3分の2を補助するもの。(上限200,000円/1台で1団体あたり3台を限度とする)																
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A	順調である	R6年度	実施の方向性	実施			特記事項									
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費	4,949	3,822	4,525		有効性	A	事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる									
		特定財源等			0		効率性	A	事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる									
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	防犯カメラ設置台数			単位	台	指標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度							
指標の説明		補助金を交付したカメラの設置台数(累計)					164		184	209								
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	市内刑法犯認知件数			単位	件	指標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度								
	指標の説明	羽曳野市内で刑法犯を認知した件数						482	483	537								

基本事業名	防犯設備の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	地域				
基本事業コード	242-02-03			目的	犯罪の抑止と発生後の早期解決を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画				指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	防犯カメラ設置台数(累計)		台	61	246	285
施策	4	防犯							
施策の方向	2	防犯活動の推進と意識の高揚							
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市				16 平和	17 実施手段	-	

事務事業名		防犯設備管理事務事業				事務事業コード		242-02-03											
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	2	項	1	目	1	4	担当	R5	危機対策室	R6	危機対策室
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市で管理する防犯灯及び防犯カメラ																	
	目的(どうしたいのか)	街頭犯罪抑止や暗がりの少ない安全なまちづくりの推進。																	
	手段(事業内容)	市で設置した防犯灯及び防犯カメラの適切な維持管理のため、電気料金や電柱使用料の支払い並びに修繕等を行う。																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A		順調である		R6年度		実施の方向性		実施		特記事項							
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費	996	772	0		有効性	A		事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる									
		特定財源等			0		効率性	A		事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる									
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	防犯灯・防犯カメラ設置数			単位	台		指標実績			令和3年度	令和4年度	令和5年度					
指標の説明		市が設置している防犯灯及び防犯カメラの数						173	181	168									
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	防犯カメラ映像提供数			単位	件		指標実績			令和3年度	令和4年度	令和5年度						
	指標の説明	警察からの照会により提供した数						24	25	40									

基本事業名	防犯設備の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	地域				
基本事業コード	242-02-04			目的	犯罪の抑止と発生後の早期解決を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画				指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	防犯カメラ設置台数(累計)		台	61	246	285
施策	4	防犯							
施策の方向	2	防犯活動の推進と意識の高揚							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市				16 平和	17 実施手段	-	

事務事業名		主要幹線道路防犯カメラ設置事業						事務事業コード		242-02-04									
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	2	項	1	目	1	4	担当	R5	危機対策室	R6	危機対策室
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	地域の防災対策													特記事項			
		目的(どうしたいのか)	犯罪発生時の迅速な対応を目的とした防犯カメラを設置することにより、羽曳野市の地域において安心して暮らせるまちづくりを実現することを目的とする。																
		手段(事業内容)	羽曳野市内の交差点8カ所に防犯カメラを設置する。																
総計に基づく事業の進捗状況		(R5年度)	-	達成・終了		R6年度	実施の方向性		-										
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
	決算額	事業費	-	3,993	0		有効性	A	事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる										
		特定財源等	-		0		効率性	A	事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる										
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名	設置数		単位	台数	指標実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度							
			指標の説明	防犯カメラ設置台数						=	8	設置なし							
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名	閲覧数		単位	回	指標実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度								
		指標の説明	羽曳野警察署による防犯カメラ映像の閲覧件数						-		40								

基本事業名	消費者対策相談体制の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民					
基本事業コード	251-01-01			目的	消費者被害を最小限に抑える。					
第6次羽曳野市総合基本計画				指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)		
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち		総合基本計画 目標指標						
施策	5	消費生活								
施策の方向	1	消費者保護の推進								
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs	10	不平等	12	生産と消費	16	平和	17	実施手段	-	

事務事業名		消費生活相談事業					事務事業コード		251-01-01												
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)		予算科目	会計	1	款	7	項	1	目	5	担当	R5	経済労働課	R6	経済労働課			
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市民																			
	目的(どうしたいのか)	安全で安心な消費生活の実現																			
	手段(事業内容)	羽曳野市消費生活センターを設置し、市民から寄せられる消費者トラブルの相談対応を行う。																			
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A		順調である		R6年度	実施の方向性		実施			特記事項									
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる											
	決算額	事業費	4,027	3,868	4,065		有効性	A		事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる											
		特定財源等	876	678	767		効率性	B		事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、見直しの余地があると考えられる											
活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	消費生活相談件数			単位	件		指標実績			令和3年度	令和4年度	令和5年度								
	指標の説明	羽曳野市消費生活センターで受けた相談件数					488				457	388									
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	適正処理件数			単位	件		指標実績			令和3年度	令和4年度	令和5年度							
		指標の説明	羽曳野市消費生活センターで受けた相談の適正な処理件数					488				457	388								

基本事業名		消費者利益の擁護		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	251-02-01		第6次羽曳野市総合基本計画		目的	消費者利益の擁護を図る。				
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち			総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)
施策	5	消費生活		量目調査における正量率		%	97.9	実施なし	98	
施策の方向	1	消費者保護の推進								
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs		10	不平等	12	生産と消費	16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		商品量目調査・立ち入り検査事務事業				事務事業コード		251-02-01				
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当 R5	経済労働課	R6	経済労働課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市民										
	目的(どうしたいのか)	消費者利益の確保を図る										
	手段(事業内容)	羽曳野市消費者団体連絡協議会の協力を得て、市内スーパーで販売されている生活物資の内容量を調査し、適正な計量が実施されているかの実態調査を行う。										
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A	順調である	R6年度	実施の方向性	実施						
特記事項												

基本事業名	消費者意識の啓発		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	252-01-01			目的	消費者被害やトラブルを未然に防ぐ。				
第6次羽曳野市総合基本計画				指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	消費者意識の啓発に係る出前講座の実施回数	回	5	未実施	15	
施策	5	消費生活							
施策の方向	2	消費者意識の啓発							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs	10	不平等	12	生産と消費	16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		消費啓発出前講座事業					事務事業コード		252-01-01										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)			予算科目	会計	1	款	7	項	1	目	5	担当	R5	経済労働課	R6	経済労働課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	主に羽曳野市在住の高齢者																	
	目的(どうしたいのか)	消費者被害の発生を未然に防止する																	
	手段(事業内容)	老人クラブや自治会などの地域の集まりに出向き、消費啓発出前講座を行う																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	B	概ね順調である			R6年度	実施の方向性		実施										
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	個別評価	妥当性	B	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの余地があると考えられる										
	決算額	事業費			0		有効性	B	事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、見直しの余地があると考えられる										
		特定財源等			0		効率性	B	事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、見直しの余地があると考えられる										
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	消費生活出前講座開催回数			単位	回	指標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度								
指標の説明		消費啓発出前講座を1年間に開催した回数								0									
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	参加者の満足度			単位	%	指標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度									
	指標の説明	講座終了後のアンケートで「大変充実していた」「充実していた」と回答した方								0									

基本事業名	防疫・感染症対策		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	261-01-01			目的	健康で快適な生活環境を確保する。				
第6次羽曳野市総合基本計画				指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標						
施策	6	環境衛生							
施策の方向	1	自然環境の保全							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		2 飢餓	3 保健	4 教育	6 水・衛生	7 エネルギー	9 インフラ・産業		
		11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	17 実施手段	-	

事務事業名		害虫等対策事業				事務事業コード		261-01-01										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	4	項	1	目	3	担当	R5	環境保全課	R6	環境保全課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	一般市民																
	目的(どうしたいのか)	衛生害虫及び不快害虫の抑制及び駆除を行うことにより、公衆衛生の向上を図り、健康で快適な生活環境を確保する。																
	手段(事業内容)	公共用地や水路等に不快害虫抑制剤・害虫駆除液の散布を行う。																
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A		順調である		R6年度		実施の方向性		実施		特記事項						
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費	149		-		有効性	A	事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる									
		特定財源等			-		効率性	A	事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる									
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	1年間で薬剤散布及び配布した延件数			単位	件	指標実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度						
	指標の説明	市民相談により、市が行った薬剤散布及び市民に薬剤配布した延べ件数							31	31	13							
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	市が行った公共用地への薬剤投入及び散布率			単位	%	指標実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度							
	指標の説明	市民の相談により、原因場所が公共用地と判明した場合には薬剤の投入及び散布を行う。							97	100	100							

基本事業名	防疫・感染症対策		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民								
基本事業コード	261-01-02			目的	健康で快適な生活環境を確保する。								
第6次羽曳野市総合基本計画				指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)					
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち		総合基本計画 目標指標									
施策	6	環境衛生											
施策の方向	1	自然環境の保全											
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs		2	飢餓	3	保健	4	教育	6	水・衛生	7	エネルギー	9	インフラ・産業
		11	都市	12	生産と消費	13	気候変動	14	海洋資源	15	陸上資源	17	実施手段

事務事業名		飼犬登録及び狂犬病予防事務事業						事務事業コード		261-01-02									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)			予算科目	会計	1	款	4	項	1	目	3	担当	R5	環境保全課	R6	環境保全課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	犬を飼っている市民																	
	目的(どうしたいのか)	飼い犬登録率・狂犬病予防注射接種率の向上を目指すと共に、狂犬病に感染しないように理解と予防に取り組む。																	
	手段(事業内容)	市内獣医師と委託契約し、市内40箇所での年1回の集合予防注射実施によって、各地域ごとに飼い犬登録と狂犬病予防注射の接種がしやすい環境を作って目的達成に取り組んでいる。																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A		順調である			R6年度	実施の方向性		実施				特記事項					
自己評価	(単位:千円)	令和3年度	令和4年度	令和5年度		個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費	1,030	1,107	1,126		有効性	A		事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる									
	特定財源等				-		効率性	A		事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる									
活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	集合注射会場数			単位	箇所	指標実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度								
	指標の説明	注射頭数向上のための取り組み					指標実績		39	38	33								
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	狂犬病予防注射の接種率		単位	%		指標実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度								
	指標の説明	登録頭数に対する注射頭数(注射頭数÷登録頭数×100)				指標実績		63	57	55									

基本事業名		防疫・感染症対策		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民							
基本事業コード	261-01-03		第6次羽曳野市総合基本計画		目的	健康で快適な生活環境を確保する。							
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)			
施策	6	環境衛生											
施策の方向	1	自然環境の保全											
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs		2	飢餓	3	保健	4	教育	6	水・衛生	7	エネルギー	9	インフラ・産業
		11	都市	12	生産と消費	13	気候変動	14	海洋資源	15	陸上資源	17	実施手段

事務事業名		スズメバチ等の巣の駆除費用助成事業					事務事業コード		261-01-03										
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(義務的なもの)			予算科目	会計	1	款	4	項	1	目	3	担当	R5	環境保全課	R6	環境保全課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	自力で蜂の巣駆除を行うことのできない市民																	
	目的(どうしたいのか)	駆除の促進																	
	手段(事業内容)	助成金交付																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A		順調である			R6年度	実施の方向性		実施					特記事項				
自己評価	(単位:千円)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
	決算額	事業費		44		有効性	A		事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる										
		特定財源等					効率性	A		事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる									
活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	申請件数			単位	件		指標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度								
	指標の説明	羽曳野市蜂の巣駆除助成金申請件数									5								
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	助成金交付金額			単位	円		指標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度								
	指標の説明	駆除費用の合計×1/2(100円未満切り捨て、上限10,000円)									44								

基本事業名		公害等対策		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民							
基本事業コード	261-03-01				目的	公害の発生を防止し、安全・安心な生活環境を確保する。							
第6次羽曳野市総合基本計画													
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち		総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)			
施策	6	環境衛生			市民からの公害苦情解決率		%	87	87	92			
施策の方向	1	自然環境の保全											
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs		2	飢餓	3	保健	4	教育	6	水・衛生	7	エネルギー	9	インフラ・産業
		11	都市	12	生産と消費	13	気候変動	14	海洋資源	15	陸上資源	17	実施手段

事務事業名		環境調査・監視事務事業					事務事業コード		261-03-01										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)			予算科目	会計	1	款	4	項	3	目	1	担当	R5	環境保全課	R6	環境保全課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	羽曳野市域の環境(水・大気・騒音等)																
		目的(どうしたいのか)	日常生活の住環境のために大気、河川水質、騒音の状況を監視し、被害・異常発生の未然防止に努める。																
		手段(事業内容)	市域では府の環境監視を行う観測地点がないため、人への健康被害や動植物への影響など環境被害が生じないよう河川水質(5水系、5地点)、大気質(一般環境DXN、2地点)、環境騒音・自動車騒音面的評価(幹線沿道4地点、一般地域23地点)での状態を通年に監視する。																
総計に基づく事業の進捗状況		(R5年度)	A		順調である			R6年度		実施の方向性			実施						
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度			個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
	決算額	事業費	8,240	8,591	9,066				有効性	A		事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる							
		特定財源等							効率性	A		事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる							
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名	調査地点数			単位	地点		指標実績			令和3年度	令和4年度	令和5年度				
		指標の説明	羽曳野市域で測定を行っている調査の地点数									36	36	36					
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名	一般環境騒音に係る環境基準達成率			単位	%		指標実績			令和3年度	令和4年度	令和5年度					
		指標の説明	全時間帯(昼間・夜間)での環境基準達成率(23地点)									83	96	87					

基本事業名	公害等対策		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	261-03-02			目的	公害の発生を防止し、安全・安心な生活環境を確保する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	6	環境衛生		市民からの公害苦情解決率		%	87	87	92
施策の方向	1	自然環境の保全							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		2 飢餓	3 保健	4 教育	6 水・衛生	7 エネルギー	9 インフラ・産業		
		11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	17 実施手段		-

事務事業名		環境相談・指導事業						事務事業コード		261-03-02									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)			予算科目	会計	1	款	4	項	3	目	1	担当	R5	環境保全課	R6	環境保全課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市民相談																	
	目的(どうしたいのか)	生活環境の保全、向上、及び、地域の美化推進を図ることにより住み良いまちづくりを進める。																	
	手段(事業内容)	市民からの相談に対するアドバイス、工場・事業場に対する指導等。																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A		順調である			R6年度	実施の方向性		実施		特記事項							
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費			0		有効性	A		事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる									
		特定財源等			0		効率性	A		事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる									
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	苦情相談件数(公害・美化)			単位	件		指標実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度						
	指標の説明	年間の苦情相談受付件数							95		71	69							
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	苦情相談 解決率(公害・美化)			単位	%		指標実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度							
	指標の説明	苦情相談を受理し、解決した割合							87		61	56							

基本事業名	環境保全の推進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市域			
基本事業コード	261-04-01			目的	脱炭素化等の環境保全を推進する。			
第6次羽曳野市総合基本計画				指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標					
施策	6	環境衛生						
施策の方向	1	自然環境の保全						
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						
関連SDGs								-

事務事業名		地球温暖化対策実行計画(事務事業編)策定事務事業					事務事業コード		261-04-01					
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当	R5	環境保全課	R6	環境保全課	
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	羽曳野市(公共施設)									特記事項		
		目的(どうしたいのか)	2050年に温室効果ガス排出実質ゼロを目指すため、2030年に2013年度比で46%減を目指す。											
		手段(事業内容)	節電や施設更新時や庁舎建替え時は地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に沿って実施していく。											
総計に基づく事業の進捗状況		(R5年度)	A	順調である	R6年度	実施の方向性	実施							
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
	決算額	事業費			165		有効性	A	事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる					
		特定財源等			0		効率性	A	事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる					
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名				単位	指標実績			令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			指標の説明											
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名	温室効果ガス排出量			単位	トン	指標実績			令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		指標の説明	本市事務事業に係るエネルギー起源温室効果ガス排出量											6,647

基本事業名	動物愛護の推進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民					
基本事業コード	261-05-01			目的	動物愛護の意識の高揚を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らくまち	総合基本計画 目標指標	指標名			単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	6	環境衛生								
施策の方向	1	自然環境の保全								
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs										-

事務事業名		犬猫マイクロチップ装着費助成事業						事務事業コード		261-05-01									
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)			予算科目	会計	1	款	4	項	1	目	3	担当	R5	環境保全課	R6	環境保全課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	マイクロチップ未装着の犬・猫を所有する市民																
		目的(どうしたいのか)	羽曳野市内の犬又は猫に対しマイクロチップ装着の普及を図ることにより、災害発生時等の迷い犬、迷い猫の所有者を特定しやすくするため																
		手段(事業内容)	助成金交付要件を満たした犬又は猫の申請1件につき1,000円又は支払った施術に係る費用の額のいずれか低い額を交付する。助成の対象となる申請は、1世帯につき1年度以内に3匹までとする。																
総計に基づく事業の進捗状況		(R5年度)	A	順調である			R6年度	実施の方向性			実施			特記事項					
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	個別評価	妥当性	A			実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	決算額	事業費	-	17	20		有効性	A			事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる								
		特定財源等	-				効率性	A			事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる								
活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	申請件数			単位	件	指標実績			令和3年度	令和4年度	令和5年度							
	指標の説明	犬猫マイクロチップ装着費助成金申請件数						-	11	14									
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	助成金交付金額			単位	頭	指標実績			令和3年度	令和4年度	令和5年度							
	指標の説明	頭数に対する交付金額(1,000円×交付頭数)						-	17	20									

基本事業名	動物愛護の推進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民					
基本事業コード	261-05-02			目的	動物愛護の意識の高揚を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名			単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	6	環境衛生								
施策の方向	1	自然環境の保全								
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs										-

事務事業名		ペット同行避難体制整備事業					事務事業コード		261-05-02												
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	4	項	1	目	3	担当	R5	環境保全課	R6	環境保全課			
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	犬・猫を所有する市民																		
		目的(どうしたいのか)	地震や大規模な水害などにより家屋が被災し、住むことができなくなった場合の指定避難所における中長期的な避難が必要になった際、飼い主とペットが同行避難(=避難所までの避難行動)を安全・確実に行くと同時に、避難所生活が円滑に送れるような環境を整える。																		
		手段(事業内容)	ペット飼料やペット用避難用品(ケージやキャリーバック)の備蓄を行うと共に、避難所の整備等同行避難できる環境作りを整備していく。																		
総計に基づく事業の進捗状況		(R5年度)	A	順調である		R6年度	実施の方向性		実施			特記事項									
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる											
	決算額	事業費	-	238	27		有効性	A		事業の成果、類似事業との統合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる											
		特定財源等	-	-	-		効率性	A		事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる											
自己評価	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名	備蓄物資の確保		単位	袋		指標実績			令和3年度	令和4年度	令和5年度							
			指標の説明	ペットフードの備蓄数					指標実績			-	27	22							
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名	備蓄物資の確保		単位	袋		指標実績			令和3年度	令和4年度	令和5年度							
			指標の説明	ペットフードの備蓄数					指標実績			-	27	22							

基本事業名		美化活動の推進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民							
基本事業コード	262-01-01				目的	良好な生活環境の保全を図る。							
第6次羽曳野市総合基本計画													
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち		総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)			
施策	6	環境衛生			環境保全・美化活動の推進に満足している市民の割合	%	20.5	未集計	25				
施策の方向	2	環境美化の推進											
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs		2	飢餓	3	保健	4	教育	6	水・衛生	7	エネルギー	9	インフラ・産業
		11	都市	12	生産と消費	13	気候変動	14	海洋資源	15	陸上資源	17	実施手段

事務事業名		石川クリーン作戦事業						事務事業コード		262-01-01									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)			予算科目	会計	1	款	4	項	1	目	7	担当	R5	環境保全課	R6	環境保全課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	石川河川流域、及び、流域住民																	
	目的(どうしたいのか)	河川流域の水質向上及び水環境の改善を通じて流域住民の意識向上を図る																	
	手段(事業内容)	官民共同で河川流域の清掃。																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A		順調である			R6年度	実施の方向性		実施				特記事項					
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費		35	0		有効性	A		事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる									
		特定財源等			0		効率性	A		事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる									
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	参加者数			単位	人		指標実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度						
	指標の説明	クリーン作戦当日の参加人数									2,000	2,000							
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	ごみの回収量			単位	t		指標実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度							
	指標の説明	クリーン作戦でのゴミ回収総量									5	5							

基本事業名	美化活動の推進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	262-01-02			目的	良好な生活環境の保全を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画				指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	環境保全・美化活動の推進に満足している市民の割合	%	20.5	未集計	25	
施策	6	環境衛生							
施策の方向	2	環境美化の推進							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		2 飢餓	3 保健	4 教育	6 水・衛生	7 エネルギー	9 インフラ・産業		
		11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	17 実施手段	-	

事務事業名		まちかど清掃事業				事務事業コード		262-01-02										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	4	項	2	目	1	担当	R5	環境保全課	R6	環境保全課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市域																
	目的(どうしたいのか)	公共施設周辺のポイ捨てゴミの清掃を行うことにより、環境美化の啓発を行う。																
	手段(事業内容)	市職員による駅前及び公共施設周辺の清掃活動																
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A		順調である		R6年度		実施の方向性		実施		特記事項						
自己評価	(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
	決算額	事業費								有効性	A		事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる					
		特定財源等								効率性	A		事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる					
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	開催回数				単位	回		指標実績	令和3年度		令和4年度		令和5年度			
指標の説明	まちかど清掃開催回数										1		1					
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	職員参加人数				単位	人		指標実績	令和3年度		令和4年度		令和5年度				
指標の説明	まちかど清掃参加延人数											80		85				

基本事業名	環境教育の推進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民							
基本事業コード	263-01-01			目的	環境問題に対する意識の高揚を図る。							
第6次羽曳野市総合基本計画				総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)			
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち										
施策	6	環境衛生										
施策の方向	3	環境教育の推進										
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり										
関連SDGs	2	飢餓	3	保健	4	教育	6	水・衛生	7	エネルギー	9	インフラ・産業
	11	都市	12	生産と消費	13	気候変動	14	海洋資源	15	陸上資源	17	実施手段

事務事業名		環境教育推進事業					事務事業コード		263-01-01										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)			予算科目	会計	1	款	4	項	3	目	1	担当	R5	環境保全課	R6	環境保全課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市域の小学生																	
	目的(どうしたいのか)	環境教育の一環として、エネルギーと環境との関わりを考える授業や、水生生物とのふれあいを通し、環境について関心を喚起し美化の推進につなげる。																	
	手段(事業内容)	関西電力(株)協力による「環境教育授業」、大阪府石川河川公園との共催事業の「水辺の観察会」																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A		順調である			R6年度	実施の方向性		実施					特記事項				
自己評価	(単位:千円)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
	決算額	事業費		0		有効性	A		事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる										
		特定財源等		0		効率性	A		事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる										
活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	環境教育開催回数			単位	回		指標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度								
	指標の説明	環境保全課で行っている環境教育の開催回数								1	1								
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	参加者数			単位	人		指標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度							
		指標の説明	環境教育の参加人数								20	27							

基本事業名		ごみの再資源化の推進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民							
基本事業コード	272-01-01		第6次羽曳野市総合基本計画		目的	資源循環型社会の形成に貢献する。							
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)			
施策	7	ごみの減量化と再資源化		資源化率		%	10.3	8	11				
施策の方向	2	ごみの再資源化の推進	まちづくりの 戦略										
		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり											
		(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり											
		(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs		2	飢餓	3	保健	4	教育	6	水・衛生	7	エネルギー	9	インフラ・産業
		11	都市	12	生産と消費	13	気候変動	14	海洋資源	15	陸上資源	17	実施手段
													-

事務事業名		ペットボトル回収事業					事務事業コード		272-01-01										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)			予算科目	会計	1	款	4	項	2	目	3	担当	R5	環境保全課	R6	環境保全課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市域から排出されるペットボトル																	
	目的(どうしたいのか)	ごみの減量化及び再資源化を図る。																	
	手段(事業内容)	公共施設や地域集会所等に専用回収容器を設置し、市内から排出されるペットボトルの回収を行う。																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A		順調である			R6年度	実施の方向性		実施					特記事項				
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度		個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	決算額	事業費	3,728	3,984	3,920			有効性	A		事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる								
		特定財源等						効率性	A		事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる								
自己評価	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	回収日数			単位	日		指標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度							
		指標の説明	年間回収日数					141		147	140								
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	回収量			単位	t		指標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度							
		指標の説明	年間回収量					37		30	41								

基本事業名	ごみの再資源化の推進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	272-01-02			目的	資源循環型社会の形成に貢献する。				
第6次羽曳野市総合基本計画				指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	資源化率	%	10.3	8	11	
施策	7	ごみの減量化と再資源化							
施策の方向	2	ごみの再資源化の推進							
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		2 飢餓	3 保健	4 教育	6 水・衛生	7 エネルギー	9 インフラ・産業		
		11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	17 実施手段	-	

事務事業名		古紙回収助成事業				事務事業コード		272-01-02										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)		予算科目	会計	1	款	4	項	2	目	3	担当	R5	環境保全課	R6	環境保全課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	古紙等を回収し再生業者に引き取り依頼をしている自治会、町会等																
	目的(どうしたいのか)	ごみの減量化及び再資源化を図る。																
	手段(事業内容)	古紙等を回収し再生業者に引き取り依頼をしている自治会、町会等に対し助成金を交付する。																
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	B		概ね順調である		R6年度	実施の方向性		実施		特記事項							
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度		個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	決算額	事業費	3,456	3,200	2,777			有効性	A	事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる								
		特定財源等						効率性	A	事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる								
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	古紙集団回収実施団体数			単位	団体	指標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度							
指標の説明		前期・後期分延べ回収実施団体数					298		298	296								
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	古紙集団回収量			単位	t	指標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度								
	指標の説明	年間回収量						1,728	1,600	1,389								

基本事業名		廃棄物の適正な処理		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民・環境事業組合等							
基本事業コード	273-01-01		目的		清潔で快適な生活環境を確保する。								
第6次羽曳野市総合基本計画					総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)			
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち											
施策	7	ごみの減量化と再資源化											
施策の方向	3	効率的なごみ処理方法の検討											
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs		2	飢餓	3	保健	4	教育	6	水・衛生	7	エネルギー	9	インフラ・産業
		11	都市	12	生産と消費	13	気候変動	14	海洋資源	15	陸上資源	17	実施手段

事務事業名		ごみ収集事業						事務事業コード		273-01-01									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)			予算科目	会計	1	款	4	項	2	目	2	担当	R5	環境保全課	R6	環境保全課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	一般家庭																	
	目的(どうしたいのか)	一般廃棄物の排出を抑制し、再利用を促進するとともに、一般廃棄物の適正な処理を行い生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。																	
	手段(事業内容)	市内の家庭から発生する一般廃棄物(ごみ)を業務委託により収集及び運搬を行う。																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A		順調である			R6年度		実施の方向性			実施							
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度			個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
	決算額	事業費	698,201	705,354	706,281				有効性	A		事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる							
		特定財源等							効率性	A		事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる							
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	委託業者家庭系ごみ収集運搬量			単位	t		指標実績			令和3年度	令和4年度	令和5年度					
		指標の説明	可燃ごみ+可燃粗大+不燃粗大									24,054	23,623	23,621					
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	市民一人1日あたりの家庭系可燃ごみの排出量			単位	g		指標実績			令和3年度	令和4年度	令和5年度						
	指標の説明	年間家庭系可燃ごみ収集運搬量÷365(日)÷年度末人口									603	595	559						

基本事業名	廃棄物の適正な処理		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民・環境事業組合等								
基本事業コード	273-01-02			目的	清潔で快適な生活環境を確保する。								
第6次羽曳野市総合基本計画				指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)					
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち		総合基本計画 目標指標									
施策	7	ごみの減量化と再資源化											
施策の方向	3	効率的なごみ処理方法の検討											
まちづくりの 戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり											
		(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり											
		(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs		2	飢餓	3	保健	4	教育	6	水・衛生	7	エネルギー	9	インフラ・産業
		11	都市	12	生産と消費	13	気候変動	14	海洋資源	15	陸上資源	17	実施手段

事務事業名		し尿収集事業					事務事業コード		273-01-02										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)			予算科目	会計	1	款	4	項	2	目	1	担当	R5	環境保全課	R6	環境保全課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	一般市民																	
	目的(どうしたいのか)	一般廃棄物の排出を抑制し、再利用を促進するとともに、一般廃棄物の適正な処理を行い生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。																	
	手段(事業内容)	市内の家庭から発生する一般廃棄物(し尿)を業務請負により収集及び運搬を行う。																	
総計に基づく 事業の進捗状況	(R5年度)	A		順調である			R6年度	実施の方向性		実施									
自己評価	(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度		個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	決算額	事業費	16,073	14,516	13,508			有効性	A		事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる								
		特定財源等						効率性	A		事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる								
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	し尿汲み取り人口			単位	人		指標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度							
		指標の説明	羽曳野市域のし尿の汲み取り人口							4,009	3,554	3,363							
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	し尿処理率			単位	%		指標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度								
	指標の説明	羽曳野市域のし尿の処理率							100	100	100								

基本事業名		廃棄物の適正な処理		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民・環境事業組合等							
基本事業コード	273-01-03		第6次羽曳野市総合基本計画		目的	清潔で快適な生活環境を確保する。							
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)			
施策	7	ごみの減量化と再資源化											
施策の方向	3	効率的なごみ処理方法の検討											
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり											
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり											
		(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs		2	飢餓	3	保健	4	教育	6	水・衛生	7	エネルギー	9	インフラ・産業
		11	都市	12	生産と消費	13	気候変動	14	海洋資源	15	陸上資源	17	実施手段

事務事業名		柏羽藤環境事業組合負担金事務事業					事務事業コード		273-01-03						
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)			予算科目	会計	款	項	目	担当	R5	環境保全課	R6	環境保全課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	一般廃棄物(家庭系・事業系・し尿)													
	目的(どうしたいのか)	一般廃棄物の適正な処理を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。													
	手段(事業内容)	市内及び市内事業所から排出された一般廃棄物の中間処理及び最終処分を近隣3市(柏原市・羽曳野市・藤井寺市)で構成する一部事務組合で処理を行い、搬入量に応じた負担金を各市から支出し、適正で効果的な廃棄物の処理を行う。													
総計に基づく事業の進捗状況	(R5年度)	A	順調である			R6年度	実施の方向性		実施						

基本事業名	廃棄物の適正な処理		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民・環境事業組合等								
基本事業コード	273-01-04			目的	清潔で快適な生活環境を確保する。								
第6次羽曳野市総合基本計画				指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R4年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)					
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち		総合基本計画 目標指標									
施策	7	ごみの減量化と再資源化											
施策の方向	3	効率的なごみ処理方法の検討											
まちづくりの 戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり											
		(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり											
		(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs		2	飢餓	3	保健	4	教育	6	水・衛生	7	エネルギー	9	インフラ・産業
		11	都市	12	生産と消費	13	気候変動	14	海洋資源	15	陸上資源	17	実施手段

事務事業名		水銀等使用廃製品の分別収集事業						事務事業コード		273-01-04									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)			予算科目	会計	1	款	4	項	2	目	3	担当	R5	環境保全課	R6	環境保全課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	一般家庭																	
	目的(どうしたいのか)	羽曳野市でいきいきと安心して暮らせる環境を整える。																	
	手段(事業内容)	法の求めにより、家庭から排出される一般廃棄物のうち、水銀等使用廃製品を分別収集する。																	
総計に基づく 事業の進捗状況	(R5年度)	A		順調である			R6年度		実施の方向性			実施							
自己評価	(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる						
	決算額	事業費	1,223		1,441		1,588			有効性	A		事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる						
		特定財源等								効率性	A		事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる						
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	収集回数			単位	回		指標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度							
		指標の説明	年間回収量実績							83	99	97							
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	収集運搬量			単位	kg		指標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度								
	指標の説明	年間回収量							10,916	11,907	12,270								